

平成26年度 長野県屋代高等学校・附属中学校 学校評価(職員による評価)

年度末評価:平成27年2月実施

25 屋代高等学校・附属中学校

職員による年度末評価 A:十分 B:概ね十分 C:やや不十分 D:不十分

評価指標 評価を A:4点(a人) B:3点(b人) C:2点(c人) D:1点(d人) と点数化し、最高100点満点となるように換算して表示しました。

計算式 $25 * (4 * a + 3 * b + 2 * c + 1 * d) / n$ (総数) 総数(回収数)=70

評価項目	評価の観点	今年度の取組の成果	次年度への課題	職員評価				年度末評価指標		
				A	B	C	D			
キャリア教育	キャリア教育体制を検討し発展させることができたか。	基本的に例年のキャリア教育体制に従って肅々と生徒への指導を進めた。(高3)		53	17	0	0	93.9		
		例年の指導体制に基づきながら、新たな企画も含めた取組も行った。(高2)	新課程入試移行へ向けて、また、生徒の現状に即した指導法について研究を深めた。(高2)							
		昨年度に引き続き「大学・企業見学会」「校外集中学習会」を実施し、また、「ジョブシャドウイング(希望者)」の実施先を拡大した。(高1)	2・3年次へのつなぎの検討。(高1)							
		学年行事「能登臨海実習」「職場体験学習」「イングリッシュキャンプ」「学習合宿」「修学旅行」を実施し、生徒の実態を把握した。(中学)	各行事へのキャリア的要素の取り入れ方。(中学)							
	進路情報を生徒・保護者に向け有効に発信できたか。	進路関連の資料や学年通信による、その期に必要な情報を逐次発信した。また、進路情報は担当者の努力で例年以上に発行することができた。(高3)		57	13	0	0		95.4	
		学年通信を中心に、各種進路資料を用いて伝えることができた。また、総合学習においても進路情報を学ぶ機会を増やした。(高2)	学年通信等が保護者の手元まで届く方法を考えたい。(高2)							
		学年通信を中心に進路選択や学習に関わる情報の提供ができた。(高1)	内容をより充実させたい。(高1)							
		毎週定例の学年通信を通してキャリアに関する情報を発信した。参観日に、保護者と学習状況を共有した。(中学)	中3への高校入学後を見通した進路情報の提供。(中学)							
	全教科にわたる総合的学力を養成し、国公立大学を中心に進路実現の可能性を拡げることができたか。	全体としては5-7型で最後まであきらめずに学習に取り組む指導を行った。(高3)	生徒の中には私立大学に関する指導を充実してほしいという声も少なくない。(高3)	43	25	2	0			89.6
		各教科の指導の取り組み情報や調査ごとの個人成績情報を学年で共有し指導に活用した。(高2)	個々の生徒にバランス良く各教科の学力をつける教科間の連携を図りたい。(高2)							
		「校外集中学習会」や「ハイレベル模試」を企画して、大学選択の際の視野を広げるように努めた。(高1)	各成績層に応じた取組を行いたい。(高1)							
		学力推移調査の見直しを行った。希望模試(中3では5教科型)を各学年60名程度受験させた。調査前に、質問講座を設けた。(中学)	模試を見据えたカリキュラムと振り返りの方法。質問講座の参加への呼びかけ。(中学)							
生徒の学力や生活実態などの情報を把握し、それを集団と個々に応じた指導に活かすことができたか。	毎回の模擬試験後の分析に基づき、全体・教科・個別指導を実施した。(高3)		45	23	2	0	90.4			
	各データを元に個別面談指導や教科指導で活用することができた。(高2)	数年間のデータ蓄積による、現在の生徒像の理解と指導法の全体での共有が必要。(高2)								
	「学習習慣調査」や「学習計画・実績表」等をもとに、生徒の実態を把握・分析し、面談指導等で活用した。(高1)	生徒の学習実態を継続的に把握し、学年や各教科で情報を共有したい。(高1)								
	学習実態調査の結果をもとに、HR担任・教科担任が連携して個別指導を行った。(中学)	複数教科で学力不振の生徒への支援と上位生への指導。(中学)								
学習指導	魅力ある、質の高い授業を提供できるよう教科指導の研鑽に努めることができたか。	教員同士互いの授業公開のほか、授業力向上を図るための職員研修会(アクティブラーニング)を実施した。(委員会)	職員向け体験授業(アクティブラーニング)を行い、双方向授業実施に向けての手掛かりとする。(委員会)	41	27	2		0	88.9	
	生徒の学習実態調査(家庭学習時間など)の結果を分析・研究することができたか。また、分析・研究の結果を指導に活かすことができたか。	学年、学級に寄り添った指導計画を立て、具体的な教材を用いて、一歩進んだ授業を工夫することができた。(中学)	質の高い内容の工夫と、魅力ある授業をするようにしたい。(中学)							
	高校1年生に協力していただき、授業の参観を行い、高校進学への意識を高めることができた。(中学)									
	1,2学年が学習状況調査を2回(春と秋)実施し、学習への取組の見直しの指針とした。(委員会)	学習状況の分析項目を絞り込み、分析・研究を多方面から行う。(委員会)								
生徒指導	通学中の交通事故をなくす努力ができたか。	交通安全教室、街頭指導、HR単位の自転車運転マナーの啓発を行った。報告された交通事故は8件(昨年度9件)とやや減少した。(係)	来年度から自転車の交通違反に罰則規定が設けられるため、規範の徹底を行いたい。(係)	31	36	3		0		85.0
	いじめや暴力のない安全な学校生活を送るための啓発活動ができたか。	駅での指導の結果、マナーが改善された。(中学)	中学生としての自覚やルール等の確認を再度行い、自ら行動できるように指導していく。(中学)							
		いじめに関するアンケートを行い、その後の面談等に役立てた。(係)	不断の啓発活動を行いたい。(係)							
		地域の方の意見等を理解し、自覚ある行動をとるようになった。(中学)	集団モラルの向上についての研究。(中学)							
生徒会	質実剛健の気風を大切に、執行部と各会員が一体となった自主活動のための指導支援ができたか。	学校最大行事の鳩祭を成功に収めることができた。生徒自身の持つ力、仲間と協調する力など大いに発揮できるようバックアップできた。(係)	様々な行事を通じ中学校との連携を益々盛んになるよう工夫したい。また、高校、中学校の班活動の見直しの時期でもある。(係)	47	21	2	0	91.1		
		生徒会選挙を契機として、相互に意識し合うことで、生徒会に向けての集団の意識が向上した。(中学)	活動の見直しを持たせながら、自治意識を更に向上させられるとよい。(中学)							
		役員は毎朝の挨拶で校内に活力と仲間と継続する力を鍛えている。(係)								
		自主的な活動ができるように支援してきた。(中学)								
校内美化	清掃用具の充実を図ると共に、生徒が自主的に校内美化を進められるように、指導・支援を行うことができたか。	限られた予算の中で使用頻度の高い清掃用具・用品の購入を優先した。生徒のゴミ分別の意識を高められた。(係)	定期的に校内トイレを見回り、できる限りトイレを清潔な状態に保てるようにする。(係)	24	42	4	0		82.1	
		時間一杯、無言で行うことができた。(中学)	無言清掃とともに、気づき清掃も心がけるようにする。(中学)							
		基礎期の最高学年として、1学年をリードして清掃に取り組んだ。(中学)	清掃が持つ教育的価値への職員の意識の共有。(中学)							
人権教育	すべての教育活動が人権教育を基盤として行われ、いじめや体罰のない安心安全な学校づくりにつながったか。	性教育と人権教育を結合させる試みを行うことができた。(係)	来年度は人権教育の南ブロック事務局校となるので実践的な取組を行いたい。(係)	48	22	0	0			92.1
		道徳で資料を活用し、学年行事等での実際の場面での人権感覚を養うことができた。(中学)	人権感覚向上に具体例を踏まえて努める。(中学)							
		道徳の授業の中で、「いのちの学習」を定期的に行なった。(中学)	引き続き、学校の教育活動全体で、道徳的価値の実現に努めていけるとよい。(中学)							
学校運営	魅力ある学校づくりに向け、教育課程やSSHのプログラムについて研究を行うことができたか。	新たな中学講座の開設や科学オリンピックへの参加人数を増加させるなど、SSH中間評価で出された課題に取り組めた。(委員会)	普通科生への更なる普及や高大接続の研究、更にⅢ期の総括とⅣ期の準備。(委員会)	57	13	0	0	95.4		
		魅力ある学校づくりに向け、理数科3年の理数Ⅲコースの理科の科目について、コースの特色に添ったよう理数科目から学校設定科目へと科目変更を行った。(委員会)	一貫生の高校進学に伴い、選抜生・理数科生をも含め、実際の実践からの現行教育課程の検証。(委員会)							
		校内研修会で中高一貫教育について共通理解を図った。(委員会)	中高の学習内容の連結について教科会等で検討。(委員会)							
		企業と連携して、協働学習等について研究した。(中学)	中高一貫の基礎期の見直しと充実期の改善についての検討。(中学)							
本校の教育活動の成果を、保護者、小中学生、地域に伝え、特色ある学校として理解してもらうことができたか。	本年度からホームページのレイアウトを一新し、随時工夫している。また、各部署からの情報を集め、高校・中学校の特色や活動を発信できている。(係)		中学校のホームページの充実を図りたい。(係)	47	22	1	0		91.4	
		授業公開や学年通信等を通して、活動の様子を伝えることができた。(中学)	保護者や地域の声を、学年通信に反映させていきたい。(中学)							
		棚田での体験学習は、地域に足を運び、地域について知る良い機会となった。(中学)								